

市民活動は
まちの未来を
創造する

パートナー

発行 静岡市清水市民活動センター
 指定管理者 特定非営利活動法人
 NPOサポート・しみず
 〒424-0943 静岡市清水区港町2-1-1
 Tel 054-340-1010 Fax054-351-5530
 mail@shimizu-s-center.org
 http://shimizu-s-center.org

10年にプラス「1」！ 若者のセンスが光る周年イベント

11月5日、清水市民活動センター11周年記念事業市民活動FESTA2017がおこなわれました。

「10年間の成果に、さらに新たな魅力を重ねていこう」を合言葉に、実行委員はじめ多くの方の協力を得て、終始和やかな雰囲気うちに幕を下ろしました。



今年市民活動センターの壁面を飾ったのは大木のオブジェで、現在利用登録をしている団体が一枚一枚の木の葉で網羅されています。

10年前、すでに地域の課題解決に向け活動を行っている団体がセンター利用者のメインでした。やがて枝が広がり、多様な団体が来館するようになり現在のようになりました。

NPOを取り巻く状況も年々変化し、長年活動を続けた一部の団体に疲れが見える一方、事業型のNPOを目指す団体、顕在化した課題に取り組むために活動を始める団体が現れています。

新たな動きは新鮮な風を吹込み、活動歴の長い団体が元気をもたらすことができます。

周年事業実行委員会にも若い風が吹きました。静岡県立大学生の森洋子さん(写真右上)、本林智都さん(写真右下)が正・副実行委員長となり、さらにNPO法人不二見の会の山梨哲人さん(写真左上)が副実行委員長としてサポートしました。

彼女たちのアイデアで、恒例のパネルコンテスト審査員も大学生、高校生にお願いし、寄付イベントも女子らしい「ハート寄付」と名を変え、参加者も例年以上になりました。

また、大学生審査員池田理沙さん(写真左下)の誠実な審査の様子は、大人たちの心に強く訴えるものがありました。

一参加者ではなく、社会の課題に関心を持ち自分たちの考えを言葉で伝えていこうとする彼女たちの姿に「いまだきの若者感が変わった」という感想も聞かれました。

清水市民活動センター11周年記念事業 市民活動FESTA2017 ～出会い・つながり・まちが活きる～

思いを伝え、共感の輪が広がる団体ブース



ブースによる活動紹介も8回目。団体の入れ替わりはあるものの、回を重ねるごとにプレゼンテーションの腕前が上がっていることがわかります。

場を共有し活動を伝え合うことで、新たな連携も生まれます。この日、地域の子ども会からフードバンクへの食品提供や、就労支援団体に体験の場として、介護施設、中山間地振興にとりくむNPO、中間支援団体が受け入れを表明するなどの成果がありました。

また、10代20代の若者が活動歴の長い団体の説明に熱心に耳を傾ける姿も各所で見られました。そして毎年好評のフードコートでは、虹をテーマにしたカラフルなテーブルをはさんで、さらに深く楽しい会話が弾みました。



ブース出展団体

- 清水日本語交流会
- 清水ユネスコ協会
- 清水映画サークル協議会
- NPO法人 POPOLO
- 認定NPO法人フードバンクふじのくに
- 清水おやこ劇場
- CAPきらきら
- cocore(ココワ)
- いきもの企画
- 清水うたい隊
- 自己表現研究会
- 静岡学生NGOあおい
- YEC(若者エンパワメント委員会)
- しずおか市消費者協会
- スルガダルク
- NPO法人複合力
- 清水火力発電所から子どもを守るmamaの会
- 静岡県労働金庫

パネルコンテスト結果発表！

59団体が出展したパネルコンテストは、10月1日から11月5日の間、来館者による投票が行われ、得票数上位2団体が大賞、その他3団体が審査員特別賞を受賞しました。

今年度は、大学生、高校生にも審査をお願いしました。パネル展を見るのも、市民活動という言葉に触れるのも初めてという方たちでしたが、1点1点丁寧に見て選んでくれました。「どの団体にしたら良いのかとても迷った」とのことと、力作ぞろいに関心していました。



大賞

清水おやこ劇場
清水海洋少年団

審査員特別賞

すべての生き物を主役に賞(しよう)
きらきらした子どもが増えるで賞
素晴らしいアイデアで賞

いきもの企画
CAPきらきら
cocore(ココワ)

センター利用で活動の樹をさらに大きく

周年事業期間中、来館される方にセンター機能をもっと活用してほしい、とスタッフ企画の展示をおこないました。名づけて「市民活動センター解体新書」。

場としての利用はしていても、多様なセクターとのつなぎ役や困りごとの相談機能があることがあまり知られていない、または十分活用されていません。また、スタッフ一人ひとりの得意分野が団体活動のお役に立つこともあります。そのひとつひとつを改めて紹介しました。

活動分野や利用目的などを分析し見える化することで市内の活動団体の様子や課題が明らかになり、スタッフ自身も今後の運営に反映できる情報があることを再確認しました。

壁面のオブジェに象徴されるように、時間をかけて多くの団体が育ってきました。この樹をさらに成長させるために、センター機能をフルに活用してください。



清水うたい隊「するが紅トマHIKO☆星隊」は参加団体最年少の中学生。東北大震災の被災地を励ます慰問活動を続けています。団体の命名は、宮城県で復興支援に取り組むご当地アイドル「みちのく仙台ORI☆姫隊」です。



NPOワンポイント

● はじめましょう、決算の準備

決算3ヶ月前から、次の項目を確認してみてください。

- 固定資産** □ 現物と固定資産台帳の金額は一致していますか
 □ 廃棄や売却したものはありますか
- 現金及び預金** □ 月ごとの出納帳に記入もれはありませんか
 □ 月ごとの現金残高・預金残高と出納帳残高が一致していますか



他にも棚卸の準備や、売掛金・買掛金等の残高確認が必要な団体もあります。
 また、固定資産税(償却資産)申告書が届いている団体は、1月末が提出期限ですのでご注意ください。

早めの準備で余裕をもって決算報告、申告にそなえましょう。

事業のご案内

● 学生団体を知ろう シリーズ3
 - 静岡学生NGOあおい -

NGOあおいは、カンボジアのコンポントム州で児童買春問題に取り組んでいる静岡県立大学公認の学生団体です。

2004年から始まった現地での取り組みや、日本での活動を紹介してもらい、交流します。

- 日時** 1月13日(土) 13:30~15:30
参加費 無料
定員 30名

● まち・コレシリーズ14
 今宵は主役！WASABI三昧

- 清流の恵みをこころゆくまで -

静岡県は、水わさびの栽培面積日本一。

独特の辛味は食材の引き立て役として和食、洋食、菓子類に、と多様に使われています。



今回はその名わき役にスポットを当て、生産者の話を聞き、わさびの魅力を探ります。

- 日時** 1月26日(金) 19:00~20:30
参加費 500円/1人(試食代)
ゲスト JAしみず山葵部会長
 山葵栽培加工品生産者
 吉川昌文さん
定員 25名(先着順)

しみず・コレなあに?

その28



大きな口を開けて空を見上げる姿がどことなくユーモラスなこの石像。清水区の方なら一度は見たことがあるはずですが、「知らない」という声もちらほら。

多分、気づかなかっただけなのではないでしょうか。何しろ、清水区役所の正面玄関の両脇に据えられているのですから…。

台座の裏には、「唐獅子」とあり、庁舎竣工の昭和58年に個人が寄贈したことが記されています。戦前の清水市庁舎玄関にあったとありますが、その後の経緯は記されていません。

神社の唐獅子は阿形、吽形ですが、こちらはどちらも同じ形で口を開けています。

「新庁舎建設の協議が進んでいるけれど、今度移転になったら自分たちはどこへ行くのだろうか」とでも言っているかもしれません。

年末年始休館日のお知らせ

平成29年12月29日(金)~平成30年1月3日(水)
 の6日間は休館です。

会議や印刷でセンターを利用される団体はご注意ください。
 ※上記のほか、1月は17日も休館となります。